

津波予報(気象庁の資料による)

気象庁では、地震により重大な災害が起こるおそれのある大きな津波(高さ1 m 以上)が予想される場合には津波警報を、高さ0.5 m 程度で災害の起こるおそれのある津波が予想される場合には津波注意報を全国66の津波予報区(地第29図)に対して発表している。また海外で発生した地震についても、海外の関係機関と連携をとりながら、日本国内で災害が起こるおそれがある場合には津波警報・注意報を発表している。

津波警報には「大津波」と「津波」の2種類がある。津波警報・注意報を発表する際には、各津波予報区に対して予想される津波の高さを具体的な数値で発表する。

津波警報・注意報の種類

種 類		解 説	発表される津波の高さ
津波警報	大津波	高いところで3 m 程度以上の津波が予想されますので、厳重に警戒してください。	3 m, 4 m, 6 m, 8 m, 10 m 以上
	津 波	高いところで2 m 程度の津波が予想されますので、警戒してください。	1 m, 2 m
津波注意報		高いところで0.5 m 程度の津波が予想されますので、注意してください。	0.5 m

注「津波の高さ」とは、平常の海面から、津波によって高くなった高さのこと。

津波警報が発表されたら、海の近くにいる人たちは直ちに小高い丘などの安全な場所へ避難することが必要である。また、津波注意報であっても海水浴や磯釣りは危険であるので、直ちに中止し、海岸や河口から離れること。

なお、気象庁は、地震が発生した後、災害が起こるおそれがない0.2 m未満の高さの津波が予想される場合、または津波発生が予想されない場合には、その旨を知らせる津波予報を発表している。

津波予報の内容

予想される海面の状況	内 容
津波が予想されないとき	津波の心配なしの旨を地震情報に含めて発表する。
0.2 m未満の海面変動が予想されたとき	高いところでも0.2 m未満の海面変動のため被害の心配はなく、特段の防災対応の必要がない旨を発表する。
津波注意報解除後も海面変動が継続するとき	津波に伴う海面変動が観測されており、今後も継続する可能性が高いため、海に入っている作業や釣り、海水浴などに際しては十分な留意が必要である旨を発表する。

